



タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	スタートアップセミナー		
担当教員	野際 大介		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:J
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g1110010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	50 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	30 %
		社会の改善につなげる創造性	0 %
		市民としての主体的態度	0 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	本講義は、学習集団のなかで協働的な活動を通じて、高校と大学の学びのちがいを理解するとともに(学びの質的転換)、大学という学習環境の活用方法や、アカデミック・ライティング、プレゼンテーションなどの基本的・汎用的アカデミック・スキル図を身につけることを目的としています。		
単位認定基準	a. 学習集団のなかで協働的に課題に取り組むことができる。 b. 設定された(した)テーマに関する文献を読み、要約することができる。 c. 最低限の形式を守ったレジュメやレポートを作成することができる。 d. 設定された(した)テーマについて他社に伝えることができる。		
授業計画	1. オリエンテーションー大学に入学してー 2. 自己紹介と目標設定 3. グループディスカッション、グループワーク 4. プレゼンテーション演習(1)(Microsoft Powerpointの活用、提案目的とプレゼンテーションの流れ) 5. プレゼンテーション演習(2)(スライドデザイン、ファシリテーション) 6. グループワークの報告会とディスカッション 7. プレゼンテーション振り返り 8. 資料の検索引用、参考文献の記載方法、引用と考察のちがいを、剽窃、著作権など 9. 研究レポート・プレゼンテーションの構成、展開 10. レジュメ、電子メール、ビジネス文書の書き方 11. テーマに沿ったレポート、プレゼンテーションの作成演習(レポート作成のポイント、論理的な記述とは?) 12. 研究報告会とディスカッション 13. 自己評価と今後にむけて ・うち1回分は図書館ガイダンス、1回分はメンタルヘルスオリエンテーションを予定しています。 ・講義開催セミナーにおいて、学外研修実施予定です。 ・学外研修先や研修内容については、講義内で相談のうえ決定します。 このクラスの後期科目である「問題探求セミナー」(遠藤教員担当)では【ノートPCの持参】(キーボード付きマイクロソフト製「Surface」も可)が必要です。履修登録の際に注意してください。		
教材・教科書	講義内で適宜指示する		
参考図書	講義内で適宜指示する		
参考URL			

授業以外の学習	(1)ディスカッションやプレゼンテーションに際しては、積極的に講義に参加するため準備を行うこと。 (2) レポート作成に際しては、誤字脱字のチェックを怠らず、指示内容に即して記載し、友人などと相談やディスカッションすること。 (3) 図書館(学内外問わず)を利用し、インターネットだけでなく、文献や資料も積極的に活用すること。
成績評価の方法	a. レジュメ、レポートの形式、内容 b. プレゼンテーションの形式、報告内容など c. 講義への参加の積極性
成績評価の基準	S:単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた(90～100点) A:単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた(80～89点) B:単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた(70～79点) C:単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた(60～69点) F:単位認定基準の学修成果をあげられなかった(～59点)
オフィスアワー	月曜日16:30～17:30(不在の場合もあるので、予めメール等で調整すると確実です)
授業改善・工夫	学生が主体的かつ自主的に発信ならびに発表し、ディスカッションする場や時間を設ける。また、図書館など教室以外の場所も活用して講義を進める。
留意点・注意事項	ノートパソコン、インターネット環境(学内無線LANでの利用可能)が必要
教員の実務経験の有無	

